

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【公表番号】特表 2012-509645 (P2012-509645A)  
 【公表日】平成 24 年 4 月 19 日 (2012.4.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-016  
 【出願番号】特願 2011-537521 (P2011-537521)  
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 9 日 (2012.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

キャリアの 2 つ以上のグループを含む多重キャリア変調信号に対してピーク対平均電力比 (P A P R) を低減するための方法であって、

( a ) 第 1 の時間フレームの間に ( i ) 前記 2 つ以上のグループの第 1 のグループ内のキャリア種類に対して非ゼロ値を割り当てること及び ( ii ) 前記非ゼロ値を割り当てた後に前記 2 つ以上のグループの第 2 のグループ内のキャリア種類に対してゼロ値を割り当てることと、

( b ) 第 2 の時間フレームの間に ( i ) 前記第 2 のグループ内の前記キャリア種類に対して任意の非ゼロ値を選択することと、

( c ) 第 3 の時間フレームの間に、予め定められた P A P R スレッシュホールドに基いて前記第 2 のグループ内の前記キャリア種類に対して非ゼロ値を最適に決定することとを備えた方法。

【請求項 2】

ステップ ( a ) は目標 P A P R を選択しリザーブされたトーンのセットを選択することを含み、

ステップ ( a ) は ( iii ) 第 1 の P A P R を計算すること及び前記第 1 の P A P R が予め定められた制約を満たすかどうかを決定することを更に備えている請求項 1 の方法。

【請求項 3】

前記ステップ ( a ) ( iii ) は高速フーリエ変換を計算することを含む請求項 2 の方法。

【請求項 4】

ステップ ( b ) は ( ii ) 前記第 1 の P A P R が前記予め定められた制約を満たさない場合に前記第 2 のグループ内の前記任意の非ゼロ値キャリア種類に基いて第 2 の P A P R を計算すること及び ( iii ) 前記計算された P A P R が予め定められた制約を満たすかどうかを決定することを更に備えている請求項 3 の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のグループ内のキャリア種類はデータキャリア、連続的なパイロット、及び分散パイロットの少なくとも 1 つを含み、

前記第 2 のグループ内のキャリア種類はリザーブされたトーンを含む請求項 1 の方法。

【請求項 6】

ステップ ( a ) ~ ( c ) は初期化シーケンスの間に実行される請求項 1 の方法。

【請求項 7】

前記多重キャリア変調信号は直交周波数分割多重化 ( O F D M ) 信号及び離散多重トーン変調 ( D M T ) 信号の少なくとも一方である請求項 6 の方法。

【請求項 8】

ステップ ( a ) ~ ( c ) は O F D M 送信機内で実行される請求項 7 の方法。

【請求項 9】

キャリアの 2 つ以上のグループを含む多重キャリア変調信号に対してピーク対平均電力比 ( P A P R ) を低減する方法を実行する 1 つ以上のプロセッサによる実行のための 1 つ以上の命令の 1 つ以上のシーケンスを搬送するコンピュータ可読媒体であって、前記命令は、前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されるときに、

( a ) 第 1 の時間フレームの間に ( i ) 前記 2 つ以上のグループの第 1 のグループ内のキャリア種類に対して非ゼロ値を割り当てること及び ( ii ) 前記非ゼロ値を割り当てた後に前記 2 つ以上のグループの第 2 のグループ内のキャリア種類に対してゼロ値を割り当てることと、

( b ) 第 2 の時間フレームの間に ( i ) 前記第 2 のグループ内の前記キャリア種類に対して任意の非ゼロ値を選択することと、

( c ) 第 3 の時間フレームの間に、予め定められた P A P R スレッシュホールドに基いて前記第 2 のグループ内の前記キャリア種類に対して非ゼロ値を最適に決定することとを前記 1 つ以上のプロセッサにさせるコンピュータ可読媒体。

【請求項 10】

ステップ ( a ) は目標 P A P R を選択しリザーブされたトーンのセットを選択することを含み、

ステップ ( a ) は ( iii ) 第 1 の P A P R を計算すること及び前記第 1 の P A P R が予め定められた制約を満たすかどうかを決定することを更に備えている請求項 9 のコンピュータ可読媒体。

【請求項 11】

前記ステップ ( a ) ( iii ) は高速フーリエ変換を計算することを含む請求項 10 のコンピュータ可読媒体。

【請求項 12】

ステップ ( b ) は ( ii ) 前記第 1 の P A P R が前記予め定められた制約を満たさない場合に前記第 2 のグループ内の前記任意の非ゼロ値キャリア種類に基いて第 2 の P A P R を計算すること及び ( iii ) 前記計算された P A P R が予め定められた制約を満たすかどうかを決定することを更に備えている請求項 11 のコンピュータ可読媒体。

【請求項 13】

前記第 1 のグループ内のキャリア種類はデータキャリア、連続的なパイロット、及び分散パイロットの少なくとも 1 つを含み、

前記第 2 のグループ内のキャリア種類はリザーブされたトーンを含む請求項 9 のコンピュータ可読媒体。

【請求項 14】

ステップ ( a ) ~ ( c ) は初期化シーケンスの間に実行される請求項 9 のコンピュータ可読媒体。

【請求項 15】

前記多重キャリア変調信号は直交周波数分割多重化 ( O F D M ) 信号及び離散多重トーン変調 ( D M T ) 信号の少なくとも一方である請求項 14 のコンピュータ可読媒体。

【請求項 16】

ステップ ( a ) ~ ( c ) は O F D M 送信機内で実行される請求項 15 のコンピュータ可読媒体。